

先日の10月6日と13日の両日、客員教授を務める宇都宮大学で工学部の3・4年生の学生120名余りに経営工学序論の講義をしました。授業で質問を求めたところ、就職活動に成功するにはどうしたらよいかというものが多かったので、参考までにと次のような内容をお答えしました。

就職試験に合格するためには 宇都宮大学工学部の学生の質問に答えて

開倫塾塾長

宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
林 明夫

Q 宇都宮大学の工学部の学生の約半分は大学卒業後就職し、約半分は大学院に進学します。大学院に進学した学生も、大学院を修了後いずれは大半が就職をします。就職試験で成功するためにどのような準備をしたらよいでしょうか。

A (林明夫。以下省略)何事にも「自覚」が大切です。何のために生きるのか、この世に生きて後世に何を遺したいのかなどを一度は深く考えた上で、自分はどのような一生を送りたいのかを心に決めることが最も大切と考えます。

人生の過ごし方を考えた上で、何のために働くのか、何のために社会的活動をするのかを考え、就職の意味を自分なりに言葉で表現できるようにしておくことです。

企業や公官庁などの就職先では、採用(就職)試験があり、履歴書には志望動機を書く欄があり、また、何回も行われる面接試験では、なぜこの職場への就職を希望するのかが必ず質問されます。履歴書を審査する人事担当者や面接を担当する人は、毎年何十人、何百人もの入社希望者を見ていますので、あやふやな態度では合格をすることができません。

しっかりとした考えを持った人のみが合格を果たします。

Q 「自覚」を深めるには、どうしたらよいでしょうか。

A 本と新聞をじっくり読み込むことを私はお勧めします。

(1)何のために生きるのか、何のために働くのか、何のために社会的な活動をするのかなど、人生について深く考えた本や伝記はとても参考になります。

私は、内村鑑三先生の「後世への最大遺物、デンマルク国の話」と「代表的日本人」をお勧めします。岩波文庫の中にある100ページぐらいの薄い本ですが、この2冊をゆっくりと5～6回読むと、人間としての生き方を考えるときの参考になります。

パナソニックの創業者で、経営の神様と言われた松下幸之助先生の本は図書館や書店にたくさん並んでいます。とても参考になりますよ。

トーマス・フリードマンという人の書いた「フラット化する世界」という本は、これからの世界がどうなるかを知る上で貴重な一冊です。英語が得意な人は、The World is Flat が原題ですので、是非英語で読んで下さいね。

(2)新聞を読み、社会で今起きていることについて自分で考え、批判的思考能力(クリティカル・シンキング)を身につけることも、希望する仕事に就くには必要不可欠です。

なぜなら、どんな仕事でも、厳しく動く社会の変化に対応し続けられない限り成り立たないのが現代だからです。自分の力で社会がどのように動いているかを見て、自分の力でどのように自分の仕事の仕方を変えるか考える必要があります。それには、新聞をじっくり毎日読むのが一番です。

就職試験の作文や面接でも、現代社会の課題について必ず意見が求められます。あやふやな知識や情報で合格することは望めません。

Q 結構大変なのですね。

A その通りです。採用する方もよい人を採用しようと真剣ですからね。試験には、作文が必ずあります。採用担当者が読んでわかる文字と文章がスラスラ書けるよう練習をすることが大事です。

学校や先生方へ提出する文書や授業の最後に書くレポートを書くときに、作文の練習と考え、誤字脱字のないわかりやすい文章にすることを心掛けましょうね。気をつけさえすれば、作文はどんどんうまくなります。

小さい文字は絶対禁止です。作文用紙やレポート用紙の使い方、ルールも身につけて下さいね。(書き始めは一文字下げる、本の名前には「」(かぎかっこ)をつけるなど、文を書くときの決まりがいくつかあります。)

Q 最後に一言どうぞ。

A 入学試験も就職試験も、「自覚」をもって準備することが大切です。

何のために働くか。私は、生活できるだけの収入を得るためと、仕事を通して自己実現する、つまり社会のお役に立つためであると考えます。

人は一生生きて、後の世(後世)に何を残したらよいのか。ああ、あの人はまじめな生き方をした人だな、よく生きた人だなというものを少しでも残せたら素晴らしいと、私は考えます。

紹介

- ・開倫塾塾長
- ・宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
- ・マニー株式会社(ジャスダック・J ストック、手術用縫合針製造) 社外取締役
- ・社団法人 栃木県生産性本部理事
- ・栃木県社会教育委員(栃木県教育委員会)
- ・社団法人栃木県経済同友会幹事、社団法人経済同友会(東京)幹事、群馬経済同友会、福島経済同友会 各々会員。茨城経営者協会 会員。
- ・学校法人 有朋学園 東日本高等学院(福島市)理事長
- ・開倫ユネスコ協会会長
- ・CRT ラジオ 栃木放送「開倫塾の時間」担当